

学校便り

瀬底っ子

# がじゅまる

本部町立瀬底小学校  
 幼稚園 瀬底693番地  
 TEL(47)2208fax(47)6419  
 園児 9名 児童 60名  
 職員 18名  
 発行：校長 島袋 ゆかり

## 朝から停電!?! …も知恵を出して…

### 各学級で臨機応変に対応

台風十号も二日前には過ぎ去った九月九日の朝。校舎内には明かりがなく薄暗い状況でした。瀬底島の大部分が停電状態！ すぐに復旧するかと思いきや、なかなか明かりは灯りませんでした。そんな中、教室を回ってみると面白い光景が目に入ってきました。どの学級も、明るさを求めて臨機応変に対応し、学習を進めていました。固定観念にとらわれず、状況に応じた対処法を考える力も大事ですね。いつもと異なる授業形態の中、いつもより集中してがんばれた二時間だったのかも知れません。



### 二年生に絵文字を紹介（三年国語）

三年生の国語の学習に「身の回りで見つけた絵文字を紹介しよう」という単元があります。約8時間学習してきたことを、今回は「見つけた絵文字を、二年生によくわかるように紹介しよう」というめあてを設定して、二年生を招待して発表会を行いました。

発表する三年生は、わかりやすい表現を使ったり、質問を取り入れたり、また聞き手を意識して手振りを交えるなど、工夫を凝らしながら紹介していました。どの児童もよくわかる発表でした。

また、招かれた二年生も、真剣に耳を傾け、質問にも積極的に答えてくれて、素敵な発表会となりました。



「知・徳・体」 調和のとれた子供の育成を目指して・・・



1年：数のまとまりに着目し、数え方を考える



2年：およその見当をつけながら、水のかさを学習 (L, dL)



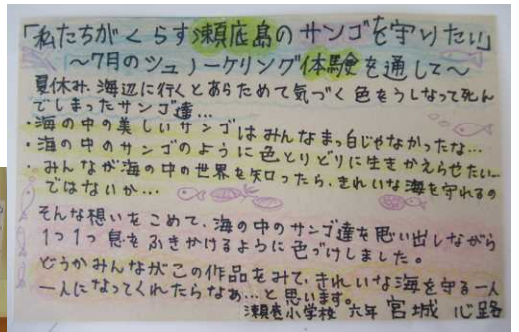
6年：「拡大図と縮図」  
教科書で学習した知識をもとに、縮図を用いて校舎の高さを計算で求める学習。  
きっと何年経っても忘れないでしょうね。



毎朝、約50人がスロージョギングに参加



6年宮城心路さんの想いがいっぱいつまった夏休みの作品



守っていききたい瀬底の海

六年 仲井間 萌生

七月十日、瀬底の海で五・六年生合同でシュノーケリング体験をしました。瀬底の産業や自然の大切さを学ぶための体験活動です。

事前学習では、東京大学大学院理学研究科教授の茅根先生や、海の環境教育を行っている浪崎さんとテレビ電話で、サンゴの生態や海、自然環境について学びました。

そして当日、武方さん、関口さん、たくさんのインストラクターや保護者の皆さんに協力してもらって、シュノーケリング体験をしました。海の中には、たくさんのテールサンゴが広がっていて、きれいな魚が多くいました。「海って、こんなにきれいなんだな。」と感動しました。泳いでいる魚たちは、青や黄色、黒とカラフルで素敵に輝いていました。サンゴは、きれいに並んでいるように見えて、ところどころ隙間があって、その間を小魚たちが楽しそうに泳いでいました。大自然を目の前にして、「きれいだし、みんなで大切にしていきたいな」と思いました。

一番心に残っていることは、水中で指をなでるしぐさをすると、魚たちがエサをもらえるとかんちがいして、寄ってきたことです。エサがないことがわかると、すぐさまサンゴの間に入り込み、身をかくしていました。サンゴと魚はお互いに身を守りあっているんだなと思いました。

今回の学習を通して、「沖縄のきれいな海を守っていきたい」と強く感じるようになりました。自然を大切にするために、普段の生活を見直したり、自分でできることを探していきたいと思います。

また、このような学習の機会を作ってくれた周りの人たちに感謝します。「ありがとうございます。」

「みんなで自然を守っていきましょう。」

(RBCラジオ「アップル」にて放送)